

情報通信審議会 情報通信技術分科会
衛星通信システム委員会作業班（第 33 回）会合 議事要旨

1 日時

令和 6 年 8 月 26 日（月）13 時 00 分～13 時 20 分

2 場所

Web 会議による開催

3 出席者（敬称略、順不同）

（1）構成員

藤井 威生（主任）、内田 信行、宇都宮 隆介（代理：藤田 祐智）、小竹 信幸、金子 雅彦、黒澤 泉、越野 真行、白石 和久、城田 雅一、武久 吉博、田中 祥次、谷田 尚子、中井田 昭、野田 俊介、平松 正顕、福井 裕介、福本 史郎、蛇石 一統、橋本 昌史、三浦 周、和田 憲拓、本久 貴志、山下 史洋

（2）関係者

甘楽 雅和（KDDI 株式会社）

（3）事務局（総務省）

基幹・衛星移動通信課 廣瀬課長、糸分析官、鮫島課長補佐、矢萩係長、鈴木官

4 議事概要

議事に先立ち、事務局から構成員の出席状況の報告、配付資料の確認等が行われた後、以下の議題について検討が行われた。

（1）衛星通信システム委員会報告（案）について

（資料 32-2-1、32-2-2 に基づき事務局から説明が行われ、以下のとおり質疑応答があった。）

田中構成員：人工衛星局の免許は米国連邦通信委員会（以下「FCC」という。）が行うが、例えば人工衛星局から干渉を受けた際には被干渉側の事業者が直接 FCC と交渉するということになるのか。

事務局：干渉等が発生した際には事業者だけではなく、総務省も間に入って調整する等の対応が必要と考えている。

田中構成員：その際には調整に御助力いただけるという認識でよいか。

事務局：総務省として必要な支援を行っていく。また、状況によっては、FCC とのやりとりを全面的に総務省が行う場合もあると考えている。

武久構成員：資料 32-2-2 の 39～41 ページの表 2. 6. 2-3～5 に記載の周波数につ

いても確認いただきたい。

事務局：確認し、必要な修正を行う。

(2) その他

事務局から、委員会報告（案）について、本日の議論を踏まえて必要な修正を加えた後、8月30日（金）に開催予定の衛星通信システム委員会にて報告する予定であることの連絡があった。

以上